

各部の近況

合唱部はクリスマス学
芸会に第三回発表として
聖歌を二つと、スペイン
語のクリスマスの歌を唄
鳴したが、その批評を部
長の酒井先生にそれから
シユトル先生にうながさ
れた。指揮をなさった
井先生は「二つの聖歌は
良かつたがスペイン語の
歌は失敗でした。パート
別にみればソアラノは良
かつたが、アルトは失敗
です。このため全体として
て他の曲の方がよかつた
たといふ事になりました。
シユトル先生は「
クリスマスの合唱の中で
『神にはみさかそし』あ
れきこゆうしたの二つ
は大変よかったです。思ひま
すが、スペイン語の歌は
あまりよくありませんで
した。全体的に音の強弱
は上手なのですが、部員
の一人の名が數つている様
な気がしますね。若い所
はもうと強く男らしくや
つてもらいたい」とこのこ
とだつた。

▼演劇部

演劇部は「仁陀と孫悟
空」「よだかの星」の二
つを上演しましたが、二
つ共力のこもった立派な
劇があつたと思います。
少し不甘い批評かも知れま
せんが、部員の多くが中
学生しかも柔軟らしい劇
を見にこむもない人々で
あることを看えて、や
はり上々吉と云わなくて
はならないと思ひます。
「よだかの星」は三幕も
つて裝飾、衣裳、小道具
具等一応心を作つたの
の人々の演技はとにかく
で部員の間に高度のチー
カーワークが行われないと
あれだけは出来ません。
結局舞台の上に出た少數
の人々の演技はとにかく
いた。部員の体力精神、殊

にこのようないかにも強力な部員を作り上げた指導的部員が、努力をまことに發揮したと思ひます。『仏陀と悟空』に出た人々は、やがてこの公演の爲めに、献身的に忙い人々で、仏陀と孫悟空の成功共に「よだかの星」の成功も或意味に於てこれの人々に負う所が多い

思います。尚今回は校長先生の好意で恒久的な舞台装置のセッティングが完成してこれらの学芸会に入つてでも演は装置を壊すことなく来るようになりましたよ皆さんと共に喜びます。又今回の劇の照明については物語の人々が大活躍してさつたことをこゝに改めて御報告しておきたいと思います。

高松山岳部員の御前山祝賀登山

さ冬の大菩薩へ

地についたのは二時十分過ぎであった。八時は到着後食料と荷物の整理をした程度で、夜も歌を歌い、風呂に入る位にして明日の登山の為早目に就寝した。

二十七日九時、諦も出発、裏の尾根から見見の頭へ出た。二時途中一望の元に眺められた雪上、商アルマスの雄大美麗な畢竟は我々をなおらず感動せしものおかなふ事だ。妙見の頭から、林状の大菩薩像を征服、次いで雪峰の中の大菩薩峰へ向った。峰は甚だ強く星根伝いに行く我々を容赦なく吹きつけた。峰の風当たりのない所で宿食を取り、後下山。夜はほど火を囲んで大狗さんの「山の鬼の出詠」等に耳を傾けた。二十八日九時半頃までである。

は或程豪氣、古木大苦を堪らずに倒むことは力について」はその要件を説く。最後の「讀書の記憶」は著者の読書経験である。讀書により野を充てて拡げることは非常に大切なので、我々の時代から養つておく必要がある。それに充分に正しく讀まなくてはならない。それで若い時代からよい読書の習慣を得るために是非一説が望ましい。

少々程度は高いが、然読すれば有益と思う。

外國便り

スペインより
ペレツティ先生

小金沢山を征服した。それでかコースに変化を
我々も充分満足させられたがかかる。
夜はいろいろ火のまわり集まつて慣例のエネ
が行なわれた。昔から「アリタマツリ」しなが
く、夜はエネを消費した。十九日、思ひ出多い
銀閣館でも今日限りう日、暗い中から大急ぎで下山の用事で急ぎ下山の用事をした。一行十二名は

外國便り　スペインより
ベレッティ先生

君・父兄の方々・先様、長い間のごぶさ
お許し下さい。スペインの風習の頗りしてと
あるそんな事についてお聞き下さい。

ペインの風習ひとつに之より興味のある
は、Games。の事、全國で熱心してや
いる遊びはフットボ
ル(football)と競走(athletics)と競走(athletics)と全般
がスペインと全般
フットボールはアメリカのそれではありません。それはアメリカですか
す。開牛はフットボ
ルよりもスペイン人はその遊びの真髄を知
る。しかし現境や前説を知りたい私などのよくな
い見出しが読み聞かれてます。甲二
耳ノコは尻尾も内敵、足両方の耳、頭牛の熟練度
と云う様な珍しいものに驚きますが、それ
でも牛半生の本體知らずから他の
人にはうつります。

「尻尾等を切つて嘗してあげるのではなく、
牛半生はいるんぢやない」と云ふのは、岩を打てるだけ何を

（アーリー） まともな物語は、この後度のものであります。彼は、馬鹿の如きを罵る事も出来ぬ。彼は、馬鹿の如きを罵る事も出来ぬ。